

入場無料

歌志内市・芦別市・赤平市

# 地域防災体験会

— 共創で育てる、地域の防災力 —

防災は想像する力

令和8年 木曜日

9月10日

10:50 ~ 14:30

## スケジュール

- ・開会式 ... 10:50~11:15
- ・主催者・来賓者あいさつ
- ・体験・実演 ... 11:15~13:30
- ・土砂埋没車両救出訓練 ... 13:30~14:20
- ・車両脱出非常時訓練
- ・閉会式～お礼のあいさつ ... 14:20~14:30

## 体験イベント内容

- 卓話
- 災害疑似体験
- 避難行動対応
- 避難所生活
- パネル展
- △シートベルト効果体験
- △自転車シミュレーター
- △救命訓練
- △煙道体験
- △水消火器体験
- △ロープワーク
- △放水体験
- △いす担架
- 高所作業車
- 土のう製作機
- 電動バックホウ
- ドローンサッカー
- 遠隔操縦
- ★流水体験車
- ★降雨体験車
- ★自動車シミュレーター
- 土砂埋没車両救出訓練
- 車両脱出非常時訓練

災害のその瞬間を疑似体験してみよう!

「★は昨年度人気体験ブースです!」

○ 判断力向上 △ 初動対応訓練 □ 復旧対応体験

### 降雨体験車



— ご参加くださった方に —

## 参加特典あり!

- ・炊飯袋
- ・ハンディファン
- ・ウェットティッシュ...

\*写真は一例です  
\*なくなり次第終了とさせていただきます



# 地域防災体験会2026について

～「市民」から「地域」へ、防災を共に育てる場へ～



## 防災を取り巻く環境の変化



2026年11月には「防災庁」が発足予定であり、防災の考え方は大きく変わろうとしています。



これまでの「災害対応中心」から、今後は**防災教育・人材育成・事前の備え**がより重視される時代へと移行します。



この変化に伴い防災体験会も「その場限りのイベント」ではなく、継続的に学び・育つ仕組みとして進化することが求められています。



## 地域防災体験会への進化

本年度より本イベントは、「市民防災体験会」から「**地域防災体験会**」へと再定義します。  
これは対象を広げるだけでなく、地域の誰もがそれぞれの立場で防災に関わり、学び、支え合う「仕組みそのもの」をつくる取り組みです。

### 基本コンセプト

### 「見る防災」から「動ける防災」へ

—共創で育てる、地域の防災力—

### キーワード

共創



(企業・教育・行政・市民)

実践



(体験で終わらない)

継承



(次世代へつなぐ)

分散



(一極集中しない防災)

## UNiREG(ユニレジ)とは？

UNiREGは、地域に関わる企業・教育機関・技術者・団体などが連携し、防災を軸に「人・技術・知見」をつなぐ共創ネットワークです。  
単なる組織や協力体制ではなく、以下の役割を持ちます。



### 地域の防災技術や知識を共有する“ハブ”

各団体の知見や最新技術を持ち寄り、地域全体の力にします。



### 企業・学校・行政をつなぐ“連帯基盤”

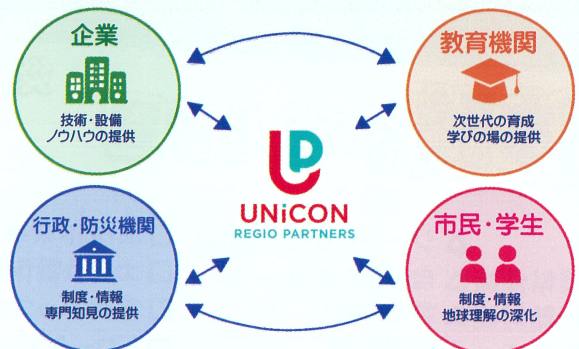
立場の異なる人や組織が対等に交流し、協力できる関係を築きます。



### 災害時に備えた実践的な“協働トレーニングの場”

平時から顔の見える関係をつくり、いざという時の連携力を高めます。

## UNiREGがつなぐ「人・技術・知見」の輪



UNiREGは、防災を「個別の取り組み」ではなく、**地域全体で機能する仕組み**として支えるプラットフォームです。

## 植村建設の役割の進化

従来の「主催者」ではなく、地域全体を調整し、つなぐ  
コアファシリテーター(進行・調整役)としての役割へと進化します。



## UNiREG共創モデル(共に作る体制)



### 企業・技術者

技術・設備・実践知の提供  
建設・通信・エネルギーなど、専門技術で地域を支えます。



### 教育機関・学生

次世代人材の育成・学習連携  
学生の学びや研究を地域の防災に活かします。



### 行政・防災機関

知見・制度との接続  
専門的な知見や制度的支援で取り組みを強化します。



### 市民・地域

実践参加・地域理解の深化  
体験を通して防災力を身につけ、地域を支える一員に。



それぞれの強みをつなぎ、  
地域の防災力を共に高めていきます！



## この体験会が目指すもの

地域防災体験会、防災を「知る」「体験する」だけの場ではありません。

01 知る  
(理解する)



02 やってみる  
(実践する)



03 つながる  
(地域で協力する)



この流れを通じて、地域全体の防災力を継続的に高めていく仕組みです。  
将来的には、地域における防災教育の「基盤」として機能することを  
目指しています。

「市民」から「地域」へという変化は、単なる名称変更ではありません。

それは、防災を“誰かがやるもの”から“**みんなで育てるもの**”へと進化させるための一歩です。

**地域防災体験会2026**は、その新しい挑戦のスタートとなります。

